



平成27年9月号 (第232号)

特集

「平成26年度ダイオキシン類調査結果」等
についてお知らせします……………P2



その他 環境情報が満載……………P3~6



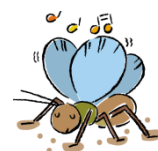
愛知万博10周年記念「インタープリター
愛・地球ミーティング」を開催！



第45回愛知県野生生物保護実績発表大会を
開催しました



第2回三河湾大感謝祭を開催します
～三河湾環境再生プロジェクト～



エコアクションを
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>



「平成26年度ダイオキシン類調査結果」等 についてお知らせします

愛知県は、ダイオキシン類対策特別措置法第27条第1項及び第2項に基づき実施した県内の環境調査の結果、並びに同法第28条第3項に基づき法対象事業者から報告された事業者による測定の結果をとりまとめました。

1 環境調査結果

愛知県、国土交通省中部地方整備局、4政令市（名古屋市、豊橋市、岡崎市及び豊田市）及びその他14市町が、大気環境、水環境（水質、底質、地下水）及び土壌環境について調査を実施しました。

平成26年度の結果概要は、下表のとおりであり、大気環境、水環境及び土壌環境において、調査したすべての地点で環境基準を達成しました。

	地点数	濃度範囲	環境基準値	単位
大気	37	0.0091~0.069	0.6	pg-TEQ/m ³
水質	52	0.024~0.86	1	pg-TEQ/L
底質	47	0.13~42	150	pg-TEQ/g
地下水	16	0.023~0.062	1	pg-TEQ/L
土壌	24	0.0015~13	1,000	pg-TEQ/g

(注1) 濃度範囲及び環境基準値（大気、水質、地下水）は年間平均値。

(注2) TEQとは、ダイオキシン類は異性体が多く、毒性は異性体ごとに異なるため、異性体の中で最も毒性の強い2,3,7,8-TCDDの量に換算した値として示したものです。

また、水生生物（魚類）については、環境基準が定められていませんが、国が平成11年度に行った全国一斉調査結果の範囲内でした。

	地点数	濃度範囲	全国一斉調査結果(11年度)	単位
水生生物(魚類)	4	0.32~1.3	0.032~33	pg-TEQ/g

2 事業者による測定結果(4政令市分を除く。)

事業者は法に基づき、毎年1回以上排出ガス、排出水及びばいじん等に含まれるダイオキシン類濃度の測定を行い、その結果を知事に報告することが義務付けられています。

平成26年度の測定・報告状況の概要は、下表のとおりです。

測定項目	報告済施設数	基準不適合施設数	未報告施設数
排出ガス	331	(0)	3(0)
排出水	26	(0)	0(0)
ばいじん及び燃え殻	193	(0)	2(0)

(注1) 施設数は、平成26年度末の数を示す（ただし、報告後廃止した施設も含む。）。

(注2) 排出水の施設数は、事業場数を示す。

(注3) 未報告施設数欄の括弧内の数字は、未報告施設のうち平成26年度末に稼働している施設数を示す。

排出ガスについては331施設、排出水については26事業場から報告があり、すべて排出基準に適合していました。

また、ばいじん及び燃え殻については193施設から報告があり、すべて処理基準等に適合していました。

3 今後の対応

ダイオキシン類による汚染の状況を監視するため、法に基づき、引き続き環境調査を実施していきます。

また、今後も事業場に対して立入検査を継続し、排出基準、処理基準等の遵守状況の把握及び排出削減の指導を行っていきます。

ダイオキシン類調査の詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/0000085327.html>)

環境活動推進課 環境リスク対策グループ
電話 052-954-6212 (ダイヤルイン)

愛知万博 10周年記念

「インタープリター愛・地球ミーティング」を開催！

愛知県では、「自然の叡智」に学ぶことの大切さを県民の皆さんに改めて思い起こしていただき、次の世代を担う「人づくり」につなげていくため、国内外で活躍しているインタープリターを招き、各国における活動の紹介や参加者との交流を行う「インタープリター愛・地球ミーティング」を開催します。また、全国都市緑化あいちフェア期間中には、自然体感プログラム「おかえり！森の自然学校」を実施します。

参加はいずれも無料です。是非ご参加ください。

1 インタープリター愛・地球ミーティング

(1) 世界のインタープリターとのトーク・セッション

- ・日時：10月11日(日) 13:00～16:00
- ・場所：愛知県立大学 長久手キャンパス 講堂
- ・内容：各国の自然の魅力と活動の紹介
(コスタリカ、ドイツ、ケニア、スリランカ、アメリカ及び日本)
会場参加者とステージとの交流 など
- ・総合司会：てつきみきひと ほりえみほ 鉄崎幹人、堀江美穂
- ・参加申込方法：氏名(ふりがな)、同行者数(申込者を含め最大5名まで)、電話番号、FAX番号またはEメールアドレスを記載し送付

【申込先】FAX：052-228-6447

Eメール：jimukyoku@onearth.biz

- ・締切：10月5日(月)必着(先着800名)

(2) 自然体感プログラム特別企画

- ・日時：10月12日(月・祝) 9:30～16:30
- ・場所：愛・地球博記念公園(モリコロパーク)
- ・内容：全国で活躍するインタープリターによる「もりのツアー」、「工作教室」など
- ・受付：各プログラム開始30分前から先着順
※海外インタープリター参加のツアー(詳細はWebページ)は事前予約が必要です。

【事前予約先】あいち環境学習プラザ

電話：052-972-9011(平日9:00～17:00)

2 自然体感プログラム「おかえり！森の自然学校」

- ・日時：9月12日(土)～11月8日(日)の土日祝(10月11日・12日を除く) 10:00～16:30
- ・場所：愛・地球博記念公園(モリコロパーク)
- ・内容：地元のインタープリターによる愛知万博の「森の自然学校」の再現
- ・受付：各プログラム開始30分前から先着順



自然体感プログラムの様子

▽詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/0000084915.html>)

〔環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)〕

連載⑤ エコリンクあいちだより

<http://aichi-eco.com/>

「エコリンクあいち」は、皆さんが地球にやさしい身近な環境配慮行動「エコアクション」に楽しく取り組み、その活動を広げるためのサイトで、エコアクションに関する日記等を投稿いただいています。ここではその一部を紹介します。

○ あま市立甚目寺小学校の取組

甚目寺小学校は、ユネスコスクールとして、ESDの視点を教育全体に取り入れ、様々な取組を実施しています。その取組の1つとして、ペットボトルのキャップを集め、リサイクルされることにより、発

展途上国の子ども達にワクチンを送る「エコキャップ運動」に参加しています。詳細はHPをご覧ください。HP：
www.city.ama.ed.jp/sho_jimokuji/



集めたキャップで
キャップアート



みんなで Let's エコアクション！

あいちエコアクション広報部



あさくら まこと
朝倉 真琴

〔環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)〕

伊良湖休暇村公園にて「アウトドアフェスタ」を開催します

愛知県では、伊良湖休暇村公園（田原市）内において、全国で初となる「自然の再生」をテーマとした公園の再整備を進めており、再整備エリアの愛称を「いらごさららパーク」と名づけ、平成 26 年 10 月にその一部を供用開始しました。

渥美半島にかつて存在した砂丘や海浜性植物などを再生、保全している公園を、多くの方に知っていただくために、「アウトドアフェスタ」を休暇村伊良湖（旧国民休暇村）と共に開催します。

当日は、砂の彫刻を作るサンドアート体験や、伊良湖岬に流れ着いた椰子の実にちなんだ「椰子の実ころがし大会」など楽しいイベントを開催します。また、園地に植栽した地元の希少な海浜性植物のハギクソウ、ネコノシタなどもご覧いただけます。是非お越しください。

1 日時

9 月 27 日(日) 10:00～16:00

2 場所

伊良湖休暇村公園（田原市中山町大松上 1）

三河田原駅より豊鉄バスで休暇村下車（約 40 分）

3 その他

- ・参加費無料（事前申込み不要）
- ・駐車場無料
- ・休暇村伊良湖レストランにて食事可能
- ・雨天中止（中止のお問い合わせは、休暇村伊良湖まで。電話 0531-35-6411）



サンドアート



椰子の実ころがし大会

〔自然環境課 調整・施設・自然公園グループ〕
電話 052-954-6227（ダイヤルイン）

第 45 回愛知県野生生物保護実績発表大会を開催しました

8 月 6 日(木)、刈谷市産業振興センターにおいて、第 45 回愛知県野生生物保護実績発表大会を開催しました。



発表の様子（滝脇小学校）

本大会は、多様な生き物の保護や環境保全への関心を高めることを目的として昭和 46 年から継続して開催しています。

県内の小中学校計 7 団体が参加し、各校が積極的に取り組んできたホタルの保全や野鳥観察などの野生生物の保護活動について、熱心に発表しました。

知事賞等を受賞した団体は、次のとおりです。

賞	受賞団体
愛知県知事賞	岡崎市立生 ^{おいだいら} 平小学校
	豊田市立滝 ^{たきわき} 脇小学校
愛知県教育委員会賞	岡崎市立河 ^{かわい} 合中学校
	岡崎市立東 ^{とうかい} 海中学校
日本野鳥の会 愛知県支部長賞	知多郡東浦町立藤 ^{ふじえ} 江小学校
愛知県自然観察指導 員連絡協議会賞	岡崎市立美 ^{みあい} 合小学校
	春日井市立東 ^{ひがしたかもりだい} 高森台小学校

知事賞を受賞した岡崎市立生平小学校については、環境省と（公益財団）日本鳥類保護連盟主催により 11 月下旬に開催される「第 50 回全国野生生物保護実績発表大会」の参加候補者として、本県から推薦します。

〔自然環境課 野生生物・鳥獣グループ〕
電話 052-954-6230（ダイヤルイン）



「生態系ネットワーク形成の取組紹介(1)」

1 はじめに

2010年(平成22年)に愛知・名古屋で「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」が開催され、2020年(平成32年)に向けた世界の生物多様性保全の目標として、地元の名前を冠した「愛知ターゲット」が採択されました。

本県では、COP10の開催を契機に、愛知ターゲットの達成に向けて、開発などで分断・孤立した生物の生息生育空間を緑地などでつないで、豊かな生物多様性をもった地域を作り上げる「生態系ネットワークの形成」に取り組んでいます。

生態系ネットワークの形成には、多様な主体の協働により、地域特性を生かして取り組む必要があることから、県が支援して地域ごとに県民や事業者、NPO、研究者などの専門家、行政からなる「生態系ネットワーク協議会」を立ち上げています。

これから6回にわたり各地域の協議会の取組を紹介していきます。第1回目は、東部丘陵生態系ネットワーク協議会(以下「東部丘陵協議会」という。)の取組です。

2 東部丘陵協議会の取組

東部丘陵地域は、名古屋市の東部に広がる丘陵地で、都市から里山までつながる地域です。多くの人が暮らし、働き、学ぶ場であると同時に、里山やため池、湿地、川などの自然も残されており、シデコブシやギフチョウ、ハッチョウトンボ、ムササビなどの多様な生きものが生息生育しています。

東部丘陵協議会では、この地域にある名古屋大学、愛知工業大学、愛知学院大学、金城学院大学を始めとする23大学が中心となって、企業や自治体と協力しながら次のような取組を行っています。

(1) あいち自然再生カレッジの開催

平成23年から26年にかけて、名古屋大学などの大学群が連携し、研究者や行政担当者な



講義の様子

どを招いて、県民を対象に生物多様性に関する連続

講座を開催し、自然環境保全の担い手となる人材を育成しました。

(2) 湿地の保全・整備

愛知工業大学のキャンパス内の小さな池(トンボ池)には、トウカイコモウセンゴケ、シラタマホシクサなど「東海丘陵要素植物」と呼ばれる地域固有の植物が生育しています。大学では、トンボ池における生物の生息生育環境の維持向上を図るため、学



トンボ池

生と教職員のボランティアを加え、トンボ池やその周辺の湿地において樹木の間伐などを行いました。

(3) 里山保全ボランティアによる活動

愛知学院大学では、学生ボランティアやNPO団体が協働し、キャンパス内のため池やその周辺の草刈り、水辺の清掃、枯木の除去や伐採を実施して、水辺環境を整備するとともに、これを通じて、学生の生物多様性保全の意識向上を図りました。



ボランティア活動の様子

(4) 大学里山キャンパス構想に基づく里山化の取組

金城学院大学では、「大学里山キャンパス構想」に基づいて、キャンパス内に周遊通路や炭焼き小屋を設置するだけでなく、学生と教職員による除伐など、キャンパスの里山化に取り組むとともに、隣接する八竜湿地の見学など、自然を楽しみながら里山の維持活動を実施しています。



里山維持活動の様子

今回は、知多半島生態系ネットワーク協議会の取組を紹介します。楽しみにお待ちください。

〔 自然環境課 生態系ネットワークグループ
電話 052-954-6229 (ダイヤルイン) 〕



連載 「三河湾環境再生プロジェクト(3)」

～ 第2回三河湾大感謝祭について ～

最終回は、プロジェクトのメインイベントである「三河湾大感謝祭」についてご紹介します。

愛知県では、「きれいで、豊かな、親しめる海、『三河湾』」を目指して、多くの皆さんに三河湾への関心を持ってもらうため「第2回三河湾大感謝祭」を開催します。

大感謝祭では、本年6月に設立した「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」の会員による活動発表や参加型ブースの出展、三河湾のアサリ等を食材にした「ガマゴリうどん」の無料試食会や、クルージングなど楽しい企画を用意しています。

参加無料でどなたでも参加出来ますので、是非、ご来場下さい。

1 開催日時

10月18日(日) 9:00～15:00

2 開催場所

大浜漁港(碧南市築山町)

名鉄碧南駅から徒歩10分

3 主な内容

(1) 広場のイベント

・海のステージ

碧南高校吹奏楽部、キッズダンス等が会場を盛り上げます

・三河湾環境クイズ大会やじゃんけん大会

クイズの全問正解者や、じゃんけんに勝った方にはプレゼントがあります。

・三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ会員によるブース出展

活動紹介のパネル展示やカラー魚拓作りなどを体験できるブースがあります。

・海の生きものロボットを通じて海を知ろう！

海洋学研究所の林正道さんによる実演です。

・海の生きものを知ろう！

県水産試験場による生きもの展示です。

・「ガマゴリうどん」の無料試食会(当日整理券配布、500食)

・三河湾を味わおう！三河湾の海の幸の出店

・～いいね！三河湾～美 SEA (うつくしい) フォトコンテスト

(2) 船乗場のイベント

・クルージング(要事前申込)

大浜漁港から出港し、周遊します。

乗船時間は1回45分で、5回運航します。

小学生以下のお子さんは保護者が同伴してください。

(7) 申込方法

所定の参加申込書に必要事項を記載の上、FAX又はEメールでお申し込みください。

(イ) 申込先

愛知県環境部水地盤環境課

三河湾環境再生グループ

FAX: 052-961-4025

Eメール: mizu@pref.aichi.lg.jp

(ウ) 申込期限

10月5日(月)必着(応募者多数の場合は抽選)

参加申込書のダウンロードや詳細はWebページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/0000085423.html>)

〔水地盤環境課 三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220 (ダイヤルイン)〕

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
平成27年9月7日発行(第232号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

編集後記

まだまだ残暑が厳しいですが、朝夕には秋の気配が感じられる季節となりました。秋といえば運動の秋です。愛知県には全長211kmに及ぶ東海自然歩道があります。

私のおすすめコースは、設楽町の段戸湖から寧比首岳を登るコースです。初心者の方でも自然を楽しみながら気軽にウォーキングを楽しむことができます。

是非一度行ってみたいはいかがでしょうか。(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境部Webページ「あいちの環境」<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。